

一般社団法人宮崎青年会議所 2022年11月 委員会報告書

財政規則審議会議

次年度理事長 川越 大輔 殿 提出日: 2022年11月23日
次年度専務理事 山崎 隆太郎 殿 議長: 高山 祥平
担当常任理事 柿塚 健太郎 殿 作成者: 小林 慎吾

開催日時:	2023年11月21日(月) 19:00~				
開催場所:	ハーロック				
出席者氏名:	高山 祥平	佐伯 康成	小林 慎吾	鶴田 佳菜子	久保田 真吾
	中田 凌太郎	川口 翔馬	長岡 海人	井手 宏	
					計9名
欠席者氏名:	児玉 真吾	斎藤 竜二	伊比井 陽葉	渡邊 慎吾	
					計4名
出席率:	63.63%				

1. 開会宣言(佐伯 康成君)
2. JCIクリード唱和(小林 慎吾君)
3. JCI Mission並びにJCI Vision唱和(久保田 真吾君)
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和(川口 翔馬君)
5. 委員長挨拶(議長 高山 祥平君)

お疲れ様です。

11月のお忙しい中、委員会にお集まりいただきありがとうございます。

実は財審はやることが色々あります。毎月の財政規則審査会議、2月のソフトバンク交流事業、11月のアワードと家族晩餐会、ジャカルタで開かれるASPACの推進などです。皆さん3大会など行ったことがないと思いますが、参加してもらえればきっと楽しいと思います。行けるタイミングがあればぜひ皆さんで参加しましょう。

財審自体は、まさに縁の下の力持ち。表に出るようなことはほぼほぼないと思います。とても地味な活動であるからこそ、どれだけ楽しくやれるかが大切だと思っています。

アワードについては、今までよりもっと別の表彰の仕方をしたいと考えています。今年は賞状の授与だけでしたが、何か景品を付けたり、優勝カップのようなものを作り、歴代の受賞者の名前を入れ受け継いでいくようなことが出来ないかと考えています。

またこの後は、2月5日に行われる、ソフトバンクホークスとの交流事業について話していきたいと思います。

6. 確認事項

特になし。

7. 審議事項（概要は、実施日時や会場等の事業概要を簡潔に記載）

特になし。

8. 協議事項（概要は、実施日時や会場等の事業概要を簡潔に記載）（意見・質問は簡潔に記載）

特になし

9. 報告事項（概要は、実施日時や会場等の事業概要を簡潔に記載）

報-09	福岡ソフトバンクホークス交流事業(案)に関する件
意見者	内容
高山	2月5日ソフトバンクホークスとの交流事業があります。内容としては、第一休養日の前日、練習が終わった15時以降、各施設にバスを用意し、それぞれに選手を派遣する形になります。ですが今年は開催日が日曜日で幼稚園などが休みです。今回はそれぞれに選手を派遣するのではなく、子供たちを球場に集めようかと考えています。大きなバスを用意し、14時頃に子供たちを球場に連れていき、練習を見る。その後、練習が終わったらグラウンドに行き選手たちと交流をしてみよう。このほかにあと2~3パターン考えたいと思います。何か意見はありませんか？
佐伯	雨天時のことも考えて、室内でやることも考えたほうが良いのでは？
高山	室内であれば、はんびドームが使えるので大丈夫です。 球場で行えば、選手の移動時間も考えずに済むのでその分交流時間を長くできるかもしれない。そうすると次は参加人数と交流の内容が重要になってくると思う。
川口	最近はユニフォームをわたしたりとかしか出来ていませんよね。
高山	それでは面白くないので、ぜひ子供たちを連れていきたい。その時はメンバーの子供が通っている幼稚園などに声をかけるのもありだと思う。しかし日曜日なので、幼稚園の先生たちがお休みなのはどうしても気になる。
久保田	日にちは動かせない？
高山	第一休養日の前日と言うことなので、日付はこれで固定だと思う。
小林	日付が固定なのであれば、まとめて連れて行くのが良いと思います。
高山	連れて行くのが第一候補。第二候補は日程をずらせば、選手たちにそれぞれ幼稚園などに行ってもらおう。第三候補は去年のようにプレゼントを渡すだけ。
佐伯	幼稚園と選手をリモートでつないで、話をしていただき、質問に答えてもらうなどは？
高山	できなくはないと思うが、どんなことをすれば子供たちが一番喜んでくれるかを考えたい。選手とキャッチボールをしたり、一時間だけの野球教室をしてみたい。

	又、日曜日という曜日であれば、親御さんにも参加してもらい、それによって JC をアピールする場になるかもしれない。それによって、会員拡大に繋がるかもしれない。
川口	ストラックアウトみたいなゲームをしてもらうのはどうですか？
中田	球場が使えるのであれば、リアル野球盤みたいなことも面白いと思います。
佐伯	イベントの時間がだいたい一時間くらい。呼ぶ人数にもよるが、なかなかタイトになるかもしれない。
高山	今までは障害のある子なども呼んでいたか、今回は幼稚園生から小学生までの動ける子を、教育委員会などに協力してもらい集めるのも一つの手だと思う。プロ選手との野球教室が出来るとなれば、百人位すぐに集まると思う。
中田	選手側は野球を知ってもらいたい、好きになってもらいたい、と考えていると思うので、野球教室が一番双方にとっていいと思う。
高山	野球教室はとてもいいと思う。その期間中ジャイアンツは野球教室はやらないのかな？
久保田	体験会はやるけど、野球教室はやらないそうです。
中田	野球を知らない子が楽しめるようなことを考えたい。
高山	野球知らない子と経験者を分けてしまってもいいかもしれない。
久保田	もし知らないこと経験者が一緒にやるのであれば、知らない子たちのレベルに合わせてあげないといけない。
佐伯	簡単なものであれば、キャッチャーの後ろにネットを置いて、そこからプロの本気のピッチングを見てもらうだけでも、とても刺激になると思う。
久保田	見るだけでは、ただキャンプに来ているのと変わらないので、体験は欲しい。
高山	もし未就学児が来るとなると、道具も問題になってくる。ホークスの道具を借りるにしても、子供には大きすぎてとても使えない。おもちゃのバットなどを持っていくことも考えたほうがいい。
小林	少年野球チームに貸してもらえないでしょうか？
久保田	このようなイベントごとで一番困るのが、参加者が遅れたり来なかったりすること。そうならないためにも少年野球チームに参加してもらい、それぞれのチームごとに取りまとめをしてもらったほうがいいと思う。
高山	それもアリだと思うが、誰でも参加できるようにもしたい。
小林	未就学児が来るのであれば走ったりとかしかできないと思う。ベースランニングで選手と競争するのがいいかもしれない。
高山	あとはどれくらいの人数を集めるかが問題になってくると思う。
小林	あまり多くても見切れないと思う。五十人位がいいと思います。
高山	五十人を十人の五チームに分けて、それぞれ選手に五人ほどついてもらうのがいいと思う。募集に関しても、なるべく教育委員会などに参加してもらいたい。そうすること

	で青年会議所と教育委員会とのつながりが出来、ほかの委員会などでも、今後の活動の助けになると思う。
久保田	未就学児だと硬式のボールは危険かもしれない。
高山	そういえばホークスアカデミーのコーチに知り合いがいる。その人に普段の練習内容を聞いてみたいと思う。募集に関してもカリタスなど以前から参加しているところを優先枠にして、残りを募集するような形で五十人ほどにしたいと思う。以上で終わりにしたいと思います。

10. 依頼事項（概要は、実施日時や会場等の事業概要を簡潔に記載）

特になし。

11. 委員会討議事項

前回のTODOリストの確認

特になし。

今回の討議内容

特になし。

今回のTODOリスト

誰が	何を	いつまでに
小林	委員会報告書	11月23日

その他(意見・質問等)

意見者	内容
特になし。	

12. 委員会訪問（青少年育成委員会 井手 宏君）

<p>委員会の貴重なお時間を頂きありがとうございます。</p> <p>京都会議の参加の願いに来ました。1月21～23日京都会議が開催されますので、是非とも参加よろしくお願いします。</p>
--

13. 閉会宣言（佐伯 康成君）

<次回会議開催日> 2023年〇〇月〇〇日(〇曜) 〇〇時～ 場所不明